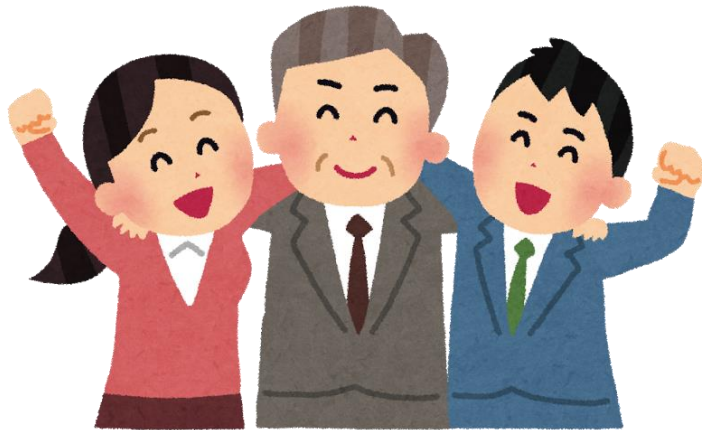


平成29年度 防府市協働事業提案制度 公開プレゼンテーション



**平成29年9月28日
防府市協働事業推進委員会**

防府市協働事業提案制度 公開プレゼンテーションスケジュール

時間（予定）	内 容
14:00	開会 ・あいさつ ・防府市協働事業推進委員会 委員紹介 ・事務局説明（スケジュール、プレゼン方法について等）
14:15～	協働事業プレゼンテーション ①行政提案型協働事業（1事業） ・デートDV防止の啓発事業 ②市民提案型協働事業（2事業） ・地域への愛着を持った子どもを育てるための指導者育成事業 ・野島活性化を目指す「非日常的な暮らし体験」事業 ※プレゼンテーション 10分以内 質疑応答 10分程度
15:30	閉会（予定） ・あいさつ ・事務連絡 等

注意事項

傍聴される皆様へ

- ・傍聴の際はお静かにお願いします。
- ・携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。会場内での通話をご遠慮ください。
- ・会場の入退室、席の移動等は自由ですが、プレゼンテーション中の移動はできるだけご遠慮ください。
- ・傍聴者からの質問等はお受けできませんので、ご了承ください。
- ・会場内は禁煙です。指定場所での喫煙をお願いします。

※お帰りの際はアンケートの回収にご協力をお願いします。

協働とは

市民と市民、市民と企業、市民と行政など、様々な主体がひとつの目的に向かって、それぞれの役割と責任を自覚し、対等な立場で協力して取り組むことをいいます。

防府市協働事業提案制度とは

この制度は、地域でこうしたらよい、こんなものがあったらよいと感じていること、気がついたことについて、市民または行政がその解決に向けた事業を提案し、それぞれ持っている力を出し合いながら、一緒に取り組んでいくことで効果的に解決していくための制度です。

市民にとってのメリット

行政が持つ情報や知識を活用し、事業を実施することで、ノウハウの蓄積が可能になります。また、行政と協働で事業を実施することにより、市民からの信頼を得られ、評価が高まります。広報活動や会場確保、資金などを行政と役割分担することで事業の実現性が高まるとともに、より効果的な事業が期待できます。

行政にとってのメリット

多様化する市民ニーズに柔軟に対応した新たな公共サービスの提供が可能になります。また、市民と協働することで市民側の活動方法や考え方を知ることができ、事業手法の見直しや職員の意識改革の契機となります。

防府市の「協働事業提案制度」は次の2つのパターンがあります。

（１）行政提案型 協働事業

行政提案型協働事業は、地域課題・社会的課題の解決を図るため、行政から市民にテーマや企画を提案し、市民から事業計画を公募するものです。

事業の経費（市の負担額） 1 提案ごとに提示

（２）市民提案型 協働事業

市民提案型協働事業は、地域課題・社会的課題の解決を図るため、市民からテーマや企画の提案、事業計画を公募するものです。

事業の経費（市の負担額） 1 提案あたり上限50万円

提案できる方

下記の要件に全て該当する団体です。

- (1) 防府市内に事務所又は活動場所があること。
- (2) 3人以上で構成された組織で、責任の所在が明確であること。
- (3) 組織の運営に関する定款、規約又は会則等を定めていること。
- (4) 適正な会計処理が行われていること又は適正な会計処理を行う能力を有していること。
- (5) 原則として1年以上継続して活動していること。

対象となる事業

下記の要件に全て該当する事業が対象です。

- (1) 市内で実施される公益的な事業であり、地域の課題や社会的課題について、提案団体と市が協働して実施することにより、その解決につながる事業であること。
- (2) 市民サービスの向上が図られ、具体的な効果、成果等が期待できる事業であること。
- (3) 役割分担が明確かつ妥当であり、提案団体と市が協働して実施することにより相乗効果が期待できる事業であること。
- (4) 提案団体の特性（先駆性、専門性、柔軟性等）を活かした事業であること。
- (5) 予算の見積り等が適正であること。
- (6) 上記の要件をすべて満たす事業であっても、次のいずれかに該当するときは、本制度の対象外とする。
 - ・ 営利を目的とするもの
 - ・ 公序良俗に反するもの
 - ・ 政治、宗教又は選挙に関する活動を目的とするもの
 - ・ 施設等の建設及び整備を目的とするもの
 - ・ 法令、条例等に違反するもの
 - ・ 特定の個人や団体のみが利益を受けるもの
 - ・ 防府市から他の補助、助成等の資金援助を受けているもの

平成29年度 提案事業

事業名：デートDV防止の啓発事業

区分	行政提案型 協働事業
提案団体名	国際ソロプチミスト防府
事業の目的・必要性	デートDVを正しく理解し、DVを見抜く視点を身につけることで、デートDVを未然に防ぐと共に、対等な関係を作れるように人権や男女相互の理解に繋げる。 昨今は、若いカップルの間で起こるデートDVの増加が問題となっていることから、デートDV防止のための啓発活動は必要である。
具体的な事業の内容・手法	・講義（DVとは（講義）、ロールプレイ、ビデオ視聴、対等な関係を作るためには（講義）） ・理解度を知るためにアンケートをとる ・アンケート結果を学校に返したり行政へ提供する
事業対象（想定地域・想定人数など）	防府市内の中学校3年生及び保護者（4校） 780人程度
事業実施スケジュール	4月～12月 各学校での講座 1～3月 アンケート集計等
事業費 （うち、市負担額）	87,340円 （87,340円）
事業のPR	当団体は、「女性と女兒が、持っている能力を発揮し自分の夢を生きられる社会づくり」を目的として活動をしています。DV防止活動としては、2002年からDV被害者支援活動をしている団体「山口女性サポートネットワーク」を支援してきました。今回の協働事業「デートDVの防止啓発事業」は市と協働しながら、ぜひ成功させたいです。

事業名：地域への愛着を持った子どもを育てるための指導者育成事業

区分	市民提案型 協働事業
提案団体名	ほうふ子ども歴史学び隊
事業の目的・必要性	私たち大人がまだ子どもであった頃は、地域の中に大人による自然な見守りが存在していたが、現代では、価値観の違い、地域活動への関心の薄さ、地域の教育力の低下などにより、そのような自然な見守りの形は少なく、大人が「地域の子どもは、地域で守り、育てる」を実践し、地域への愛着心を持った、自発的に活動できる子どもを育てることが必要となっています。そこで、これから地域で見守り活動を始め大人が指導者として活動できるよう支援を行うことを目的にしています。
具体的な事業の内容・手法	これからの地域で見守り活動を始め大人への支援（会の運営方法、育成活動の進め方についての指導等）を行い、活動の実践を通じて、自主自立できるレベルに育成します。
事業対象（想定地域・想定人数など）	（想定地域） 防府市内 （想定人数） 大人 8名 （見守り活動グループ4名×2グループ）
事業実施スケジュール	4～5月 参加者（見守り活動グループ）の募集 6月 参加者の決定、事業説明会の開催 7月 指導者研修会の開催（1泊2日） 8～10月 牟礼地域での実践指導（キャンプ、工作教室など） （牟礼青少協での体験活動等への参加） 11月 自グループでの活動計画作成 12～2月 活動の実践（支援者によるフォロー） 3月 活動成果の確認、次年度計画作成
事業費 （うち、市負担額）	546,985円 （493,985円）
事業のPR	私たちが行っている「ほうふ子ども歴史学び隊」の子ども達は、毎回笑顔でやってきて、そして笑顔で家庭に帰っていきます。今では、子どもも家族も安心できる居場所となっており、地域の大人による見守りが確立されています。 平成30年は「維新150年」の年です。地域の大人が今こそ動く時。地域に愛着を持った子ども達を育てるまち“防府”を実現するため、その指導者の育成に取り組んでいきます。

事業名：野島活性化を目指す「非日常的な暮らし体験」事業

区分	市民提案型 協働事業
提案団体名	株式会社 FP オフィス縁
事業の目的・必要性	昨今離島の過疎化が進み、離島独自の食文化や伝統文化の継承が難しくなっている。それに伴い空き家が増えていることも問題になっている。野島も例外ではない。 野島は本島に暮らす人にとって日常を忘れることができる非日常的な「環境」となり得ると考え、一見デメリットと考えがちな野島の「何もない」を「日常を忘れることにより、何も考えず心をもたない環境」というメリットとして利用できるのではないかと考えた。野島の空き家を利用して二日間暮らす体験（野島の家で過ごす、食文化、伝統芸能、普段と違う景色を眺め島を歩く等）をするために多くの島外の人を集め、島を感じてもらうことにより野島の活性化、空き家活用を目的とする。 さらに参加者のこれからの生き方を考えるきっかけとして「エンディングノートの書き方講座」を新たな体験として追加することにより付加価値をつける。
具体的な事業の内容・手法	野島において暮らす体験イベントを開催する。 郷土料理を作る、野島盆踊りを習う、島の雰囲気を感じる、エンディングノートの書き方講座の開催。
事業対象（想定地域・想定人数など）	野島 一般参加者（県内） 40人（20人×2回） 島民参加者 60人（30人×2回）
事業実施スケジュール	4月・9月 広告掲載（募集） 5月・10月 市広報掲載 5月末・10月中旬～末 事業実施
事業費 （うち、市負担額）	931,680円 （499,680円）
事業のPR	私達の日常生活にはストレスになり得る原因が多く存在し、それらに毎日さらされて暮らしている。その原因を一時でも忘れ何も考えない「心をもたない」体験をし、それがストレスを軽減させる手だてにならないかと考えた。その体験ができる環境が防府市街地から比較的近い野島にあることに気がついた。 しかし野島の現状は空き家が増え、崩れかけている家もあり、若者の姿がほとんど見られず、その環境を未来に残せる状況にない。

	そこで「心が無にする」体験を野島で行うことにより多くの人を野島に集めるイベントを定期的を開催することで、野島の活性化につなげられるのではと考え、この協働事業を提案した。この7月には最初の一歩である「島で暮らす体験！ i n 野島」として郷土料理体験、野島盆踊り体験、大漁旗染色体験を予定している。今回の事業には新たな企画として「エンディングノートの書き方講座」を加えた。さらに参加者を増やし、空き家活用数を増やす。郷土料理・盆口説きで交流を深め、地域住民・小中学校を巻き込んでいくことで、野島を活性化し、今後他の事業展開へとつなげたい。
--	---

【協働事業推進委員会 事務局】

防府市総合政策部 市民活動推進課 参画協働推進係
〒747-8501 防府市寿町7番1号（4号館3階）

電話 0835（25）2253

FAX 0835（25）2558

E-mail suishin@city.hofu.yamaguchi.jp